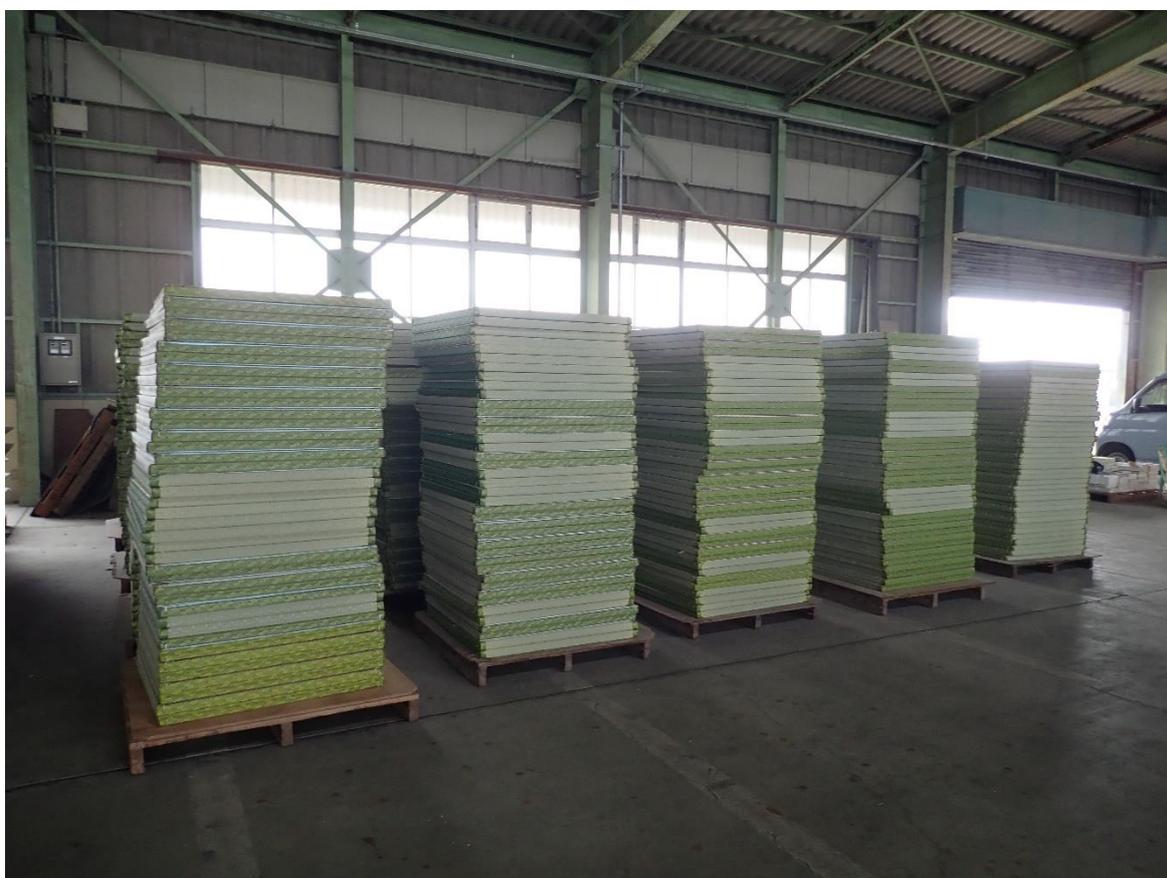


要望書

国産いぐさ畳表の需要拡大について



【R6.11.15 令和6年奥能登豪雨災害の置き畳支援】

令和7年7月
熊本県八代市
熊本県氷川町
八代地域農業協同組合

畳表となるいぐさは、熊本県八代地域の基幹作物であり、約520年の栽培の歴史を有し、当地域の作付面積は全国の9割以上を占める日本一の産地として、日本の住宅文化を支えております。

しかしながら、生活様式の変化による畳需要の減少や外国産畳表及び工業畳表との競合による国産いぐさ畳表の需要減少及び価格低迷等により、生産者数、作付面積ともに、ピーク時の平成元年の約30分の1にまで減少しており、産地の存続が危ぶまれる状況となっております。

いぐさ畳表には、日本の気候に適した湿度調節機能、シックハウスの原因とされる化学物質を吸着し、空気を浄化する作用、優しい香りで心を癒すリラックス効果などの効用があります。

このように様々な効用のある国産いぐさ畳表の需要拡大を目的として、当地域では、全国唯一の産地として、国産いぐさ畳表の魅力を広く全国の消費者の方々に共有していただくため、消費者が産地や生産者の確認を行うことのできる熊本県統一産地表示（QRコード付タグ）の普及、地理的表示（GI）保護制度の活用などの取組を積極的に行ってきたところではあります。

つきましては、日本の伝統文化である畳を次世代につないでいくため、国におかれましても、国産いぐさ畳表の優れた性質や多様な活用方法等に関する理解を深め、利活用を拡大していただけますよう、住宅メーカーや建築士等が参加されるシンポジウムでの啓発など、住宅関係団体を巻き込んだ活動への一層のご支援をお願いいたします。

併せて、国の施策において、公共施設等での和室設置を推進し、国産いぐさ畳表を指定するなど、国産いぐさ畳表の利用促進策の積極的展開をお願いいたします。

令和7年7月

八代市長

中村博生

氷川町長

藤本一臣

八代地域農業協同組合
代表理事組合長

山住昭二